

NANZAN  
UNIVERSITY

南山大学図書館報

ΔΥΝΑΜΙΣ

～デュナミス～

No.69 2016.4.1

CONTENTS

- |                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                          |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>1 検索時代の、本との出会い<br/>経営学部教授：川北 眞紀子</p> <p>2 『ことばとところ』：南山から舞い散る一綉の綿毛<br/>外国語学部教授：村杉 恵子</p> <p>4 図書館イベント紹介<br/>秋の企画展『外国語を学ぶ～幕末、英語と出会った人たち～』<br/>オープンキャンパス・父母の集い 企画展『未・ひつじ・羊』</p> | <p>8 BACK TO THE EDO</p> <p>10 教えて！先輩！Q&amp;A</p> <p>11 図書館研修を体験して<br/>図書館研修生：寺澤 侑花</p> <p>12 新入生のためのライブラリー案内のお知らせ<br/>南山大学図書館 新入生歓迎企画のお知らせ<br/>編集後記</p> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 検索時代の、本との出会い

川北 眞紀子

豊橋にある『つながる図書館 LINKRARY (リンクラリー)』は、まちなかにある小さな図書館だ。その棚には「あのひと文庫」があるそうだ。館長が「この人の本棚を見てみたい」と思った、まちで活躍する「あのひと」が読んでいる本が設置されている。借りた人がコメントを書いてファイルに入れていくことで人々がつながるなど、様々な仕掛けがある。「人の本棚を見てみたい」というのは、この魅力的な人はどんな本から影響をうけているのだろうか。どんな世界観を持っているのだろうか。そういった好奇心からくるのだろう。

北海道の砂川市に、街の本屋さん「いわた書店」がある。ここの「1万円選書」というサービスをご存知だろうか。全国から注文が殺到し、対応しきれず注文ストップになっていることが多い。社長の岩田さん自らが、その人にあった1万円分のおすすめの本を送ってくれるサービスである。注文時に、「最近読んだ本」、「その感想」、「よく読む雑誌」などについての簡単なアンケートに答えることで選書をしてくれるという。お客さんが好きそうな「同じ系列の本」はあえて選ばず、手に取ることがないが満足してもらえそうな本を選ぶという。

「世の中にある膨大な本の中から、自分が読みたいものを選ぶ」というタスクに対して、多くの手段がある。そのひとつが、「あのひと文庫」や「1万円選書」だろう。「あのひと」が自分と嗜好がほとんど同じなら、同じような本が並びかえってつまらないかもしれない。ちょっとした不一致があると、

新たな発見がありそうだ。違う興味のある人の本棚を見る場合、我々は興味を失うか、あるいは、知らない世界を発見するかもしれない。「1万円選書」では、あえて違う系列の本を選んでくれるので、新しい世界との出会いがあるかもしれない。

スマホを手にした私たちは、検索窓に文字を打ち込む「サーチ」により情報を入手することが多くなってきている。サーチの利点は、特定の範囲のものを効率的に探すことができることだろう。そして、ネット書店のレコメンデーション機能は、同じ嗜好の人が選んだものを推奨してくれるため、サーチよりも少し範囲が広いものに出会える。その結果、私がネット書店で注文するものはマーケティングやクラシック音楽など狭い分野の専門書ばかりになってしまっている。

しかし、図書館や本屋を徘徊していると、多くの違うジャンルの本と「遭遇」する。江戸文化の本、猫の本、タイポグラフィの本など、ネット書店ではおそらく注文しないものに出会う。稀に、「テイストが似ているけどちょっとだけ方向が違う」友人に、一緒に本屋に行ってもらうこともある。友人がオススメする本に出会うためである。そうすると私の書棚は新たな世界が広がっていく。このように、新たな世界と出会うために、他者のキュレーションを参考にするというのは楽しい。

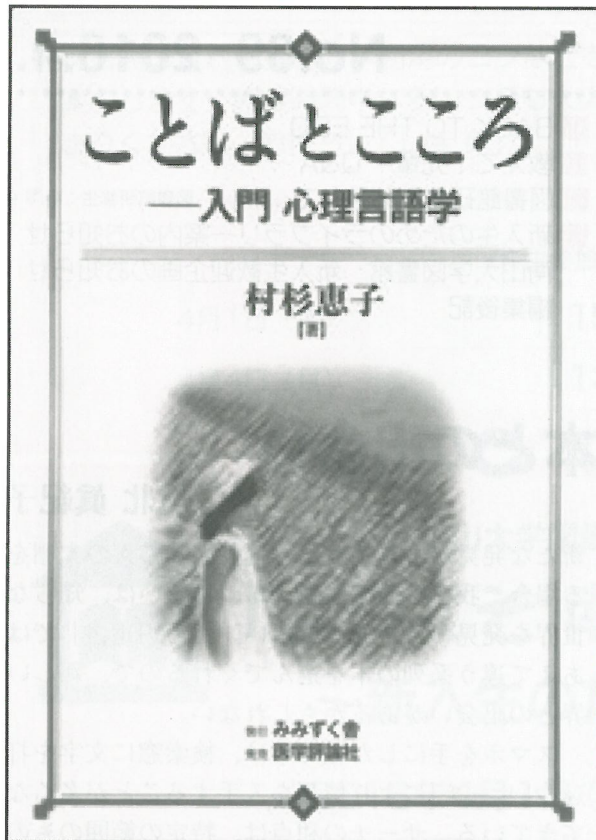
図書館がそういう機能を十分発揮し、学生たちの新たな好奇心の種を提供できますように。

(KAWAKITA, Makiko : 経営学部教授)

# 『ことばとところ』

へぎ  
南山から舞い散る一綉の綿毛

村杉 恵子



村杉 恵子 著

『ことばとところ：入門心理言語学』

みみずく舎、2014

請求番号：801/7317

私たちのまわりは、美しい恵みに満ちている。あたりまえに見えるものは、天からの贈り物である。しかし、一方で、あたりまえのものは、よく見えない。

ことばは、親から習うもの。手話はジェスチャー。文字を上手く読んだり書いたりするのが困難なのは、努力が足りないから。自閉スペクトラム症は、精神的な病。脳の<sup>しょうがい</sup>障害は、必然的に言語障害を伴う。言い間違いは、単に舌がすべったもの。方言や若者言葉は、乱れたことば、等々。これらは、どれも巷<sup>ちまた</sup>によくある誤解である。本著はその誤解を解きながら、ことばのメカニズムについて考える心理言語学の入門書である。

ことばにまつわる誤解は少なくない。20世紀前半まで、言語学では「英語の文法」、「日本語の文法」などというように個別言語の特徴について、それぞれ別々の体系化が進められていた。そして、子どもは母語を白紙の状態から学習すると考えられていた。ところが、20世紀中盤、言語学は大きな変革を遂げる。人間言語には共通の普遍文法があり、文法獲得の過程にも

普遍的特徴があることが明らかになった。心理言語学もまた、心理学の手法を取り入れつつ、脳科学の発展に裏づけられ、自然科学の一部として確立されていった。その認知革命とも言える発展は、言語獲得に関する疑問に始まった。子どもは、短期間に理解したり自由に話せたりするようになるのだろうか。なぜ人種にかかわらず、人はみな、等質な母語文法を獲得し、学習したこともない文を理解し、生成できるようになるのだろうか。

この生成文法理論の仮説によれば、子どもはどの言語にも対応できる能力を授かって生まれる。普遍文法は、人という種に特有であり、人に均一に授けられている能力である。したがって、言語は、白紙の状態から経験を積み重ねて学習するものではない。言語はかなり異なっているように見えるが、その異なり方は普遍文法の制限の範囲内にあり規則的である。言語獲得とは、生得的に与えられている言語知識に関する多くの可能性の中から、与えられた言語環境をもとに、母語に必要なものを選んでいく過程である。幼児の「誤用」には、母語以外の言語に見られる特性を用いている場合もあり、その意味では、それらの誤用はことばの「間違い」とは言えない。また、人はことばを運用する。言語運用もまた言語知識の体系を反映するものであり、言いよどみや言い間違いにもまた、世界の言語

に共通する美しい体系がある。

手話はジェスチャーであり、世界共通であると思われがちである。しかし、手話はジェスチャーでもなく、世界共通でもない。手話は自然言語であり、聾者の母語である。

一定の障害があると、ことばにも障害があるように思われがちではあるが、そうではない。このところの中では、ことばの体系と他の認知体系とはそれぞれ独立したモジュールをなしている。したがって、一定の障害があっても、ことばには障害がない場合も少なくない。読んだり書いたりすることに大変な困難を感じる難読症、あるいはコミュニケーションや一定のこだわりの特徴をもつ自閉スペクトラム症の子どもたちなどは、努力が足りないから、あるいは親の育て方に問題があるからそれらの困難をもつのではない。それらは先天的な脳の特長である可能性があり、その場合には言語能力そのものには障害はないことが多い。ことばは豊かな知識ではあるが、私たちのこのころの一部分にすぎない。

後天的な努力が足りない責め続けるのと、障害が先天的な脳の仕組みによることを前提にして個性の伸ばし方を模索するのとでは、人生は大きく異なるものになるだろう。

方言はいわゆる「言語」と同じステータスをもつ。「ごはんできたよ」と呼ばれて、「今いくよ」ではなく「今くるよ」と表現する富山方言や九州方言は、英語の“I'm coming.”という直示表現と同じ値を選ぶ「言語」である。「ハーゲンダッツで食べる」ことを「ハゲる」と表現する若者は、既存の動詞「禿げる」とは無意識に区別し、それぞれの否定形を「ハゲらない」対「禿げない」と活用させる。

世界の言語は、抽象的なレベルでは共通した「一つ」の言語であり、いわゆる言語は方言のような変異である。この視点からことばをとらえるとき、一見汚いと言われる地方の方言も若者言葉もまた一変異形にすぎないことが見えてくる。障害を抱える人には、それだからこそ個性を生かした社会貢献ができるのである。

『どんな小さなものでも みつめていると 宇宙につながっている：詩人まど・みちお100歳の言葉』（新潮社）[請求番号：911/2605]にこんなメッセージがある。

「生まれたところだけがふるさとではなく、死んでいくところもふるさと。宇宙をふるさとにすれば一緒のところになります。」

「私の目の上にはいぼがあります。そのせいで、二重に物が見えたり、かすんで見えたりします。このいぼのおかげで、私の世界の見え方にはバリエーションが増えている。楽しくて、うれしくてしょうがないことです。」

争いの絶えない私たちのふるさととは、実は一つである。また、障害も、不具合も、そして、不幸に見えるかもしれないことも、人に潜む力を活かす個性であり、楽しいものであり、嬉しくて仕方がないことでもあるのだ。ここに、グローバルであること、そして持続可能な社会をつくるための原点がある。

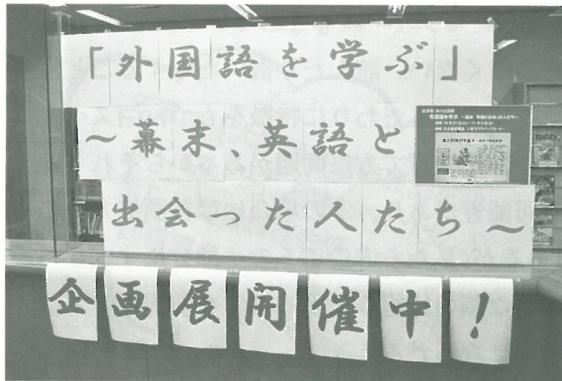
天からの恵みは、よく見ないと、その本質はわかりにくい。あたりまえのように存在する「ことば」を人の「このころ」の体系に鑑みて考えることは、人とは何かを知ることにつながる。しかし、あたりまえのものは、よく見ないとその本質はわかりにくい。人には、生まれつき与えられた心（脳）がある。そこには共通する部分が多いが、異なる部分もある。私たちは、ことばとこのころについて、多くの誤解をしがちであり、そういう誤解は、ときに人の尊厳を傷つけることがある。

心理言語学という分野は、この世に生を受けた人々が、互いを知り、それぞれに与えられたこのころの仕組みの中で幸せに生きていくためのヒントを与える可能性を秘めた種である。本書がその種を運ぶ一綉の綿毛となれば幸いである。

(MURASUGI, Keiko：外国語学部教授)

# 図書館イベント紹介 秋の企画展

## 外国語を学ぶ～幕末、英語と出会った人たち～



名古屋図書館では2015年10月27日から11月8日まで、瀬戸図書館では11月14日から11月22日までの間、秋の企画展を開催しました。

先人がいかに苦勞して外国語を学んでいたのかを知り、また外国語への関心をさらに深めてもらえればと考え、「外国語を学ぶ ～幕末、英語と出会った人たち～」というテーマで行いました。

当日展示したパネルとともに、紹介します。

### 1. フェートン号事件

～日本人が英語を学ぶ重要性を認識した事件～

この事件の内容は、イギリス船がオランダ船を装い来航し、通訳としてフェートン号に乗り込んだオランダ商館人を人質として、水と食料を強奪して去って行ったというものです。オランダ語が日本の外交用語であったため、英語のわかる通詞（江戸幕府公式の通訳者）がいなかったことが問題視されました。

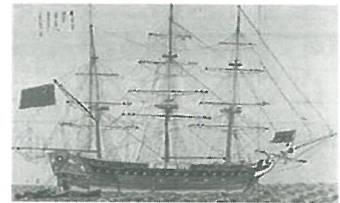
この事件で、英語を学ぶ重要性を認識した当時の日本政府は、オランダ通詞に英語を学ぶよう命じました。英語習得を命じられたオランダ通詞たちは、長崎出島の荷倉役であった、ヤン・コップ・ブロムホフなどの英語が堪能なものを師として、英語の習得に努めました。



#### フェートン号事件

江戸時代初期の1854年、イギリスの軍艦「フェートン」が長崎に上陸し、通訳としてフェートン号に乗り込んだオランダ商館人を人質として、水と食料を強奪して去って行きました。この通詞の不足に際し、英米通訳は必要でしたが、何も打つ手がなかったためにフェートン号の要求を飲むことになりました。

この事件の責任をめぐって英米両国は争論し、幕府は、当時、英米両国に属した通訳者等に100日間の禁錮を命じました。フェートン号事件は、当時の日本にとって大きな衝撃であり、国防の危機感を生じました。オランダ船が日本に外交関係を持っていたにもかかわらず、英米の（江戸幕府公式の通詞）がいなかったことも原因とされました。これがきっかけとなり、英米の必要と認識した幕府は長崎のオランダ商館に英米の通訳を命じました。これが日本人の英語学習の始まりといわれています。



#### 体当たり！英語習得

日本人が英語を学ぶのは、幕末、開港期、オランダ船がオランダ船を装ってオランダ船を襲ったこと、通訳の命を奪われ、水と食料を強奪して去って行ったというものです。オランダ語が日本の外交用語であったため、英語のわかる通詞（江戸幕府公式の通訳者）がいなかったことが問題視されました。

この事件で、英語を学ぶ重要性を認識した当時の日本政府は、オランダ通詞に英語を学ぶよう命じました。英語習得を命じられたオランダ通詞たちは、長崎出島の荷倉役であった、ヤン・コップ・ブロムホフなどの英語が堪能なものを師として、英語の習得に努めました。

この事件で、英語を学ぶ重要性を認識した当時の日本政府は、オランダ通詞に英語を学ぶよう命じました。英語習得を命じられたオランダ通詞たちは、長崎出島の荷倉役であった、ヤン・コップ・ブロムホフなどの英語が堪能なものを師として、英語の習得に努めました。

この事件で、英語を学ぶ重要性を認識した当時の日本政府は、オランダ通詞に英語を学ぶよう命じました。英語習得を命じられたオランダ通詞たちは、長崎出島の荷倉役であった、ヤン・コップ・ブロムホフなどの英語が堪能なものを師として、英語の習得に努めました。

この事件で、英語を学ぶ重要性を認識した当時の日本政府は、オランダ通詞に英語を学ぶよう命じました。英語習得を命じられたオランダ通詞たちは、長崎出島の荷倉役であった、ヤン・コップ・ブロムホフなどの英語が堪能なものを師として、英語の習得に努めました。

この事件で、英語を学ぶ重要性を認識した当時の日本政府は、オランダ通詞に英語を学ぶよう命じました。英語習得を命じられたオランダ通詞たちは、長崎出島の荷倉役であった、ヤン・コップ・ブロムホフなどの英語が堪能なものを師として、英語の習得に努めました。

この事件で、英語を学ぶ重要性を認識した当時の日本政府は、オランダ通詞に英語を学ぶよう命じました。英語習得を命じられたオランダ通詞たちは、長崎出島の荷倉役であった、ヤン・コップ・ブロムホフなどの英語が堪能なものを師として、英語の習得に努めました。

この事件で、英語を学ぶ重要性を認識した当時の日本政府は、オランダ通詞に英語を学ぶよう命じました。英語習得を命じられたオランダ通詞たちは、長崎出島の荷倉役であった、ヤン・コップ・ブロムホフなどの英語が堪能なものを師として、英語の習得に努めました。

この事件で、英語を学ぶ重要性を認識した当時の日本政府は、オランダ通詞に英語を学ぶよう命じました。英語習得を命じられたオランダ通詞たちは、長崎出島の荷倉役であった、ヤン・コップ・ブロムホフなどの英語が堪能なものを師として、英語の習得に努めました。

この事件で、英語を学ぶ重要性を認識した当時の日本政府は、オランダ通詞に英語を学ぶよう命じました。英語習得を命じられたオランダ通詞たちは、長崎出島の荷倉役であった、ヤン・コップ・ブロムホフなどの英語が堪能なものを師として、英語の習得に努めました。



### 2. 体当たり！英語習得

～辞書もない、単語集もない！英語習得は楽じゃない！！～

英語習得を開始した当初は、当然のことながら辞書も単語集もありません。そのため、英語を学ぶこととなった者たちは、辞書や単語集を自分たちで作って、学んでいました。

当時完成した辞書（単語集・会話集）は以下のものがあります。

- 1811年 <sup>あんげり あこうがくしょうせん</sup> 『**詠厄利亜興学小笈**』（830/2389/v.0-1）

収録語数 2,339語

配列 テーマ別（アルファベット順ではない）

- 1814年 <sup>あんげり あごりんたいせい</sup> 『**詠厄利亜語林大成**』（830/2389/v.0-2）

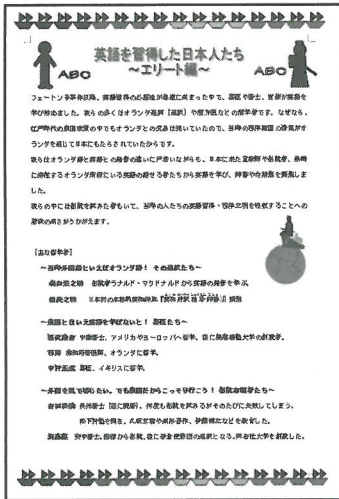
収録語数 5,910語

配列 アルファベット順

どちらも発音をカタカナで表記してありますが、オランダ通詞が作ったため、その発音はオランダ語に近く、英語の発音としては不完全なものでした。当時、英語習得のために努力を重ねていた人たちの苦心が窺えます。

例) i wish you a good day → アイ ウィス ユー ア グート デイ





### 3. 英語を習得した日本人たち ~エリート編・漂流者編~

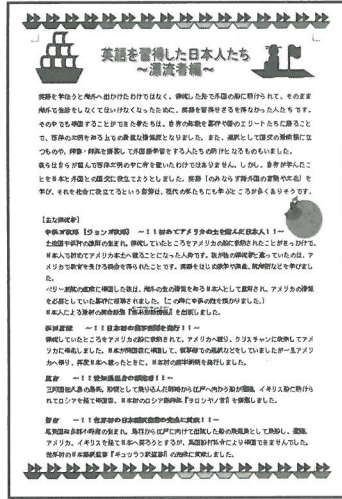
当時英語を習得した人物たちは、大きく2つに分けることができます。それは、自らの意思で英語の習得を始めた者たち（エリート）と自らの意思ではないが英語を学ばざるを得ない環境にさらされた者たち（漂流者）です。

エリートたちの多くは蘭学者でした。彼らはオランダ語に精通していたがために、その発音の違いに戸惑いながらも、日本に来た英語を話せる者たちから英語を学び、辞書や会話集を編纂しました。

**主な人物** 堀達之助（日本初の本格的英和辞典『英和对訳袖珍辞書』編集）  
福沢諭吉（慶應義塾大学創設）

漂流者たちの多くは漁師や農民で、乗り込んだ船が漂流し、外国船に救助されてそのまま海外で生活をしなくてははいけなくなったために、英語を習得せざるを得なかった人たちです。

**主な人物** 中浜万次郎（ジョン万次郎 日本人による最初の英会話集『英米対話捷徑』の出版）  
音吉（愛知県出身。世界初の日本語訳聖書『ギュツラフ訳聖書』の完成に貢献）



### 4. 日本英語重要史略年表 ~幕末から現代にかけて~

日本における英語学習の歴史を、時代の流れに沿って年表にしました。そうすることによって、時代が移り変わるに従って、英語学習に対する日本の考え方も変わっていることが分かります。必要に迫られ一部のエリートが英語漬けになって学んでいた江戸から明治時代。外交の手段として英語を学び、外国から多くのことを学ぼうとしていました。

時代は下り、大正時代になるとナショナリズムの風潮が強くなり、英語の教育時間が削減されるなど、英語廃止論が盛んになりました。しかし、高度経済成長とともに「役に立つ英語」が必要となり、現在では文部科学省が「『英語が使える日本人』の育成のための戦略構想」を公表するなど、英語を学ぶことの重要性が再び高まっています。

| 年    | 出来事      | 出来事                          |
|------|----------|------------------------------|
| 1854 | 安政の国書    | 蘭学が盛んになり、英語学習の機運が高まる。        |
| 1858 | 神奈川条約    | 外国船の寄港が認められ、英語学習の必要性が認識される。  |
| 1868 | 明治維新     | 西洋文化の導入が進み、英語学習が奨励される。       |
| 1870 | 英語教育の制度化 | 英語が学校で必修科目として教えられるようになる。     |
| 1876 | 英語辞書の出版  | 『和英大辞典』の出版により、英語学習のツールが増える。  |
| 1880 | 英語教育の普及  | 英語教育が一般市民にも広がり始める。           |
| 1888 | 英語教育の改革  | 英語教育の質を高めるための改革が行われる。        |
| 1890 | 英語教育の発展  | 英語教育がさらに進歩し、国際交流の手段として重視される。 |
| 1896 | 英語教育の改革  | 英語教育の質を高めるための改革が行われる。        |
| 1900 | 英語教育の普及  | 英語教育が一般市民にも広がり始める。           |
| 1905 | 英語教育の改革  | 英語教育の質を高めるための改革が行われる。        |
| 1910 | 英語教育の普及  | 英語教育が一般市民にも広がり始める。           |
| 1915 | 英語教育の改革  | 英語教育の質を高めるための改革が行われる。        |
| 1920 | 英語教育の普及  | 英語教育が一般市民にも広がり始める。           |
| 1925 | 英語教育の改革  | 英語教育の質を高めるための改革が行われる。        |
| 1930 | 英語教育の普及  | 英語教育が一般市民にも広がり始める。           |
| 1935 | 英語教育の改革  | 英語教育の質を高めるための改革が行われる。        |
| 1940 | 英語教育の普及  | 英語教育が一般市民にも広がり始める。           |
| 1945 | 英語教育の改革  | 英語教育の質を高めるための改革が行われる。        |
| 1950 | 英語教育の普及  | 英語教育が一般市民にも広がり始める。           |
| 1955 | 英語教育の改革  | 英語教育の質を高めるための改革が行われる。        |
| 1960 | 英語教育の普及  | 英語教育が一般市民にも広がり始める。           |
| 1965 | 英語教育の改革  | 英語教育の質を高めるための改革が行われる。        |
| 1970 | 英語教育の普及  | 英語教育が一般市民にも広がり始める。           |
| 1975 | 英語教育の改革  | 英語教育の質を高めるための改革が行われる。        |
| 1980 | 英語教育の普及  | 英語教育が一般市民にも広がり始める。           |
| 1985 | 英語教育の改革  | 英語教育の質を高めるための改革が行われる。        |
| 1990 | 英語教育の普及  | 英語教育が一般市民にも広がり始める。           |
| 1995 | 英語教育の改革  | 英語教育の質を高めるための改革が行われる。        |
| 2000 | 英語教育の普及  | 英語教育が一般市民にも広がり始める。           |
| 2005 | 英語教育の改革  | 英語教育の質を高めるための改革が行われる。        |
| 2010 | 英語教育の普及  | 英語教育が一般市民にも広がり始める。           |
| 2015 | 英語教育の改革  | 英語教育の質を高めるための改革が行われる。        |

### まとめ

自分の意思で学んだ人、自分の意思とは無関係に学ばざるを得なかった人。それぞれ事情は異なりますが、どの人も英語を習得することに必死で取り組んでいました。辞書がなければ作ってしまう。そんな先人たちの情熱を学んだ企画展でした。

#### 《福沢諭吉の蘭学から英外への転向エピソード》

大ショック！学んできた言葉が一寸も通じない！～福沢諭吉の英学転向エピソード～

福沢諭吉が蘭学を学んだ「適塾」は、月6回のテストがある競争方式の勉強の場でした。先輩の指導を受けながら自力で学ぶ教育方針だったため、試験が近付くと1冊しかない『ズーフハルマ』というオランダ語の辞書を皆で奪い合っていました。夜中でも塾生で満員だったため、立ち見で書き写したそうです。試験による学力審査が厳しかったためか、塾の柱にはうっ憤晴らしの刀傷が残っています。

諭吉は「適塾」で学んだ後、1858年江戸築地に蘭学塾(後の慶應義塾)を開き、その翌年、開国を自分の目で確かめたいと横浜を訪れます。その時の彼の衝撃を物語る記録が残っています。(『福翁自伝』岩波文庫、1978)

「其処へ行って見たところが、一寸とも言葉が通じない。此方の言うこともわからなければ、彼方のいうことも勿論わからない。店の看板も読めなければ、ビンの張り紙もわからぬ。何を見ても私の知っている文字というものはない。」  
それまで死に物狂いで学んできたオランダ語が通じないことに衝撃を受け、意気消沈したそうです。

しかし、彼のすごいところはここからです。  
「横浜から帰った翌日だ、一度は落胆したが、同時にまた志を発して、それから以来は一切万事英語と覚悟を極めて」英学への転向を決意しました。英語を教える先生を探しますが見つからず、結局自分のオランダ語の知識を利用して英蘭対訳発音の辞書を用いて、一人で英語の学習を始めました。  
「サアもうこれで宜しい、この字引きさえあればもう先生は要らないと、自力研究の念を硬くて」ただその字引と首っ引きで毎日毎夜独学に励みました。

(SEKIMOTO, Miwako : 広報委員)

オープンキャンパス・父母の集い 企画展

未・ひつじ・羊

7月の「オープンキャンパス」、9月の「父母の集い」の時には、図書館でも企画展を行っています。2015年は「未年（ひつじどし）」でしたね。昨年度の企画展では、その「ひつじ」にスポットをあて干支に関することや「ひつじ」に関する雑学と共に、「ひつじ」の描かれた貴重な祈禱書やドイツの布教図などを展示しました。



実は「ひつじ」が、キリスト教ととも関係の深い動物であることをご存じでしたか？キリスト教のイメージとして「ひつじ」はとても重要な意味を持っているんです。では、なぜ？それは、「ひつじ」という動物の特徴について知ればわかります。それについては図書館の資料で調べてもらうこととして…。

ここでは企画展で展示したカトリック文庫室の資料を紹介したいと思います。

ドイツの布教図

九十九匹の羊と見失われた一匹の羊



「羊飼いのたとえ」  
(CAT3/197/1-1-3/v.0-2-31)

「わたしのもとに帰ってきなさい」

「あなたがたの中に、百匹の羊を持っている人がいて、その一匹を見失ったとすれば、九十九匹を野原に残して、見失った一匹を見つけ出すまで探し回らないだろうか。そして、見つけたら、喜んでその羊をかついで家に帰り、友達や近所の人を呼び集めて、『見失った羊を見つけたので、一緒に喜んでください』というであろう。言うておくが、このように、悔い改める一人の罪人については、悔い改める必要のない九十九人の正しい人についてよりも大きな喜びが天にある。」(ルカによる福音書 15章4節～7節) 一匹の羊は悔い改める必要がある罪人に、九十九匹の羊は悔い改める必要のない正しい人にたとえられています。救いがたいあやまちを犯した罪人でも、「わたしのもとに帰ってきなさい」と叫び求め続けているのが神の愛である、というのがキリスト教の中心メッセージなのです。

## カインとアベルの悲劇

### 「神の目はごまかせない」

エデンの園から追われたのち、アダムとエバは夫婦となり、カインとアベルという2人の子供をもうけた。兄のカインは畑を耕し、弟のアベルは羊を飼って暮らしていた。2人が神に捧げものをする時が来て、カインは農作物を、アベルは羊の群れの中で一番太った初子（ういご）を捧げものとして差し出した。神はアベルの捧げものをたいへん喜び、カインの捧げものには、目もくれなかった。そのためカインは神を憎み激しく怒り、神に愛されたアベルに嫉妬し、ついにアベルを殺してしまう。その後カインは「アベルがどこに行ったか」という神の問いかけに「知らない」と答えたが神の目はごまかせるはずもなく、神はカインに対し不毛な労働と放浪の身となることを宣告する。カインはようやく自分の犯した罪の重さを感じ神の前から離れ、エデンの東にあるノド（さすらい）の地に住むことになった。

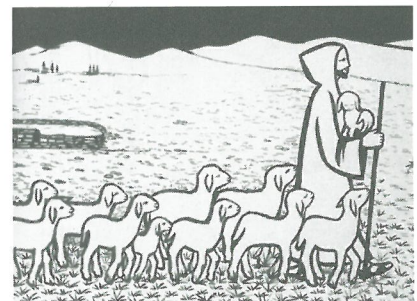


「カインとアベル」  
(CAT3/197/1-3-3/v.0-2-4)

### 布教用資料

#### Jesus (CAT1/192.8/134)

この資料には文字は全くありません。布教図と同様、絵をみながらイエスの生涯やキリスト教について幼い子供たちに話して聞かせたのでしょうか。文字がなくても伝わってくるものはたくさんあります。羊もたくさん描かれていてキリスト教との関係の深さを感じることができます。



企画展では、これら布教図のほかに明治時代の朝日新聞や読売新聞より羊にまつわる面白い記事の紹介もしました。おもわずぷっ！と笑ってしまう、なんとも面白い記事でした。そんな古い新聞の広告をみるのも楽しいですよ。図書館では、本だけでなく新聞はもちろん、いろいろな辞書・事典、各分野の電子ブックや電子ジャーナルなども見ることができます。南山大学図書館のWebサイトからも調べられます！今度は是非ご自分でそんな記事を見つけに図書館へ足を運んでください。きっと何か発見があると思いますよ。

### 参考文献

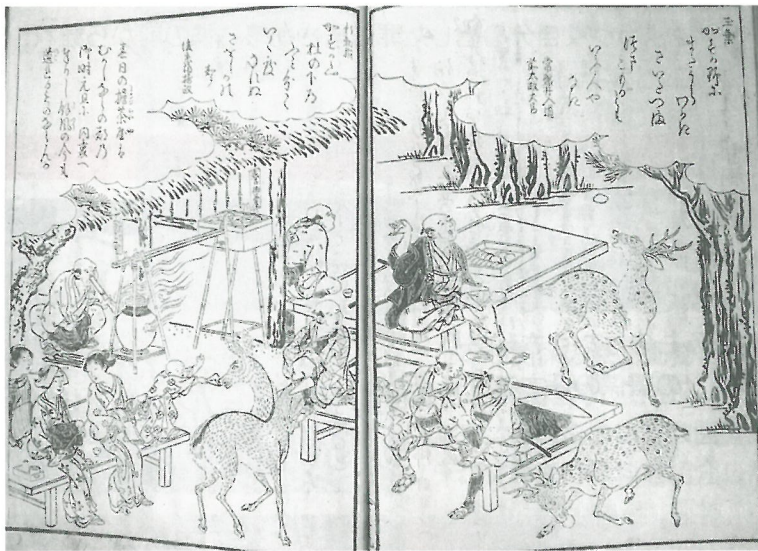
「聖書：スタディ版：わかりやすい解説つき：新共同訳」 日本聖書協会、2014年（請求番号：193K/292）  
「5分ですっきり読める聖書物語」 阿部 包監修 成美堂出版、2011年（請求番号：193K/3186）

(NISHIO, Shoko：広報委員)

# BACK TO THE EDO



「名所図会」を知っていますか？  
 「それって昔のガイドブックだよな？」— 惜しいっ！  
 実際見ていただければわかりますが、ガイドブックとして持ち歩くにはやや大きい。これはどちらかという  
 と現在で言う旅番組のようなもので、家に居ながらにして名所旧跡を楽しむための本なのです。  
 ならば、わたし達も、現在に居ながらにして江戸時代の名所旧跡を楽しめる！ということで…



寛政3年（1791）刊行の「大和名所圖會」（291W/23/v.1）をめくって奈良にやってきました。修学旅行で行ったという人も多いのではないのでしょうか？ その時にも鹿に追いかけられたという思い出のある方もいるかもしれませんが、その鹿、なんと江戸時代にはもう奈良にいたんですね！

よく見ると鹿せんべいを投げている男の人がいます。鹿せんべいの歴史は古く、元禄のころにはもう売られていたんだそうですよ。

奥には「にない茶屋」という移動販売のお茶店が出ています。



次は大阪・堺の鉄砲鍛冶屋。

「和泉名所圖會」（291W/24/v.1）に登場します。堺は火縄銃の産地でした。

通常はその地にちなんだ和歌などが紹介されるところ、ここでは、鉄砲にちなんだ落とし斬りが紹介されています。

鉄砲を買いに来た武士。  
 「これはいかほど？」と尋ねれば、  
 店主は「これは三匁玉で、これは五匁玉」と言う。  
 客が「いやいや、値（ね）は？」と聞けば、店主「音（ね）はポンと」。







よその地方の旅も面白いですが地元の様子も見てみましょう。

これは「木曾路名所圖會」(291W/6/v.2)に見られる長良川鵜飼の様子です。

かの松尾芭蕉もこの鵜飼を見て「おもしろうてやがて悲しき鵜舟哉」という俳句を読んでいますね。

木曾路名所圖會は京都から出発し、近江・美濃・信濃・上野・武蔵の五カ国を通して江戸に入る道を描いているので、鵜飼や稲葉山(岐阜城)など、岐阜の名所が紹介されているのです。

短い旅ももう終わり。名古屋へ帰ってきました。

ここは檀溪。「今でも檀溪通とか檀溪橋ってあるけど…？」そう、そのあたりなんです。残念ながら、現代ではこんな渓谷は残っていません。江戸時代には小仙境と称されるほどの景色を誇っていたのですが。世が世ならレポート作成に疲れた時にちょっと歩いて行って、この美しい風景の中でリフレッシュ、ということも可能だったのに…

檀溪以外のご近所スポットとしては「香積院」や川名の「川原神社」「八事山興正寺」なども載っています。

この図が出ているのは「尾張名所圖會」(215/919/v.1)。今回紹介した他の3つの名所図會は貸出ができませんが、この資料だけは貸出が可能です。地下2階書庫にありますので、是非一度手にとって、江戸時代の名古屋を旅してみてください。



←現在の檀溪。上の図の橋や樋の辺り。(photo by N.SUGANO)

「道？これから行く場所に道など要らん！」なんてセリフがありますが、まさにその通り。江戸への旅に道など要らん！必要なのは名所図會と想像力ですっ!!

(SAITO, Chiaki : 受入係)

# 教えて！先輩！Q&A

..... OSHIETE SENPAI Q&A .....

夜間の学生スタッフのみなさんに聞きました！



## Q. 図書館で仕事してみようと思ったきっかけは？

先輩に「大学図書館の裏側を知りたくない？」と誘われたため。また、司書課程を受けており、図書館を身近に感じたかったため。

★授業の後すぐにアルバイト先へ行けるところに魅力を感じました。また自分は司書の授業を履修しているので一度図書館で働いてみたいと思い、アルバイトに応募しました。

本が好きだが、書店のアルバイトでは客と話さなくてはいけないので嫌だ。図書館は本来「黙って」いる場所なので、自分に向いていると思ったから。

★本が好きなので、一度、図書館の仕事に関わってみたいと思ったからです。図書館で職場体験をした経験があり、また図書委員もよくやっていたので、自分が働くことによって南山大学の図書館がもっと活気づくと思ったからです。

## Q. 図書館で思いがけなく見つけたこれは！という資料を教えてください！

★地下2階保存庫のAdelungのドイツ語辞典。閉架にしまい込んでおくのはもったいない本です。ぜひ開架に移してほしい。そして使いましょう。

三島由紀夫全集。わたしの最も尊敬している作家だから。

★スポーツや武道のトレーニング本が多数あることです。テーピングや応急処置の本もあるので、部活動をしている方々はぜひ。

★地下1階のミニシェークスピア？（英文字の）本。小さいのに内容はびっしりで、その場で止まって読みたかったくらいです。おすすめの本は個人的には Philip Pullman

地下1階のマイクロ室で有名な映画のDVDが置いてあるのを見つけて、これも借りられるんだと思いました。

の His Dark Materials（ライラの冒険）シリーズです。

## Q. 図書館の仕事で一番印象に残っていることは何ですか？

★テスト前に大量の本が返却されて、それを棚に戻すのに苦労したことです。

★1階のブラウジングコーナー横にクリスマスツリーを飾ったことです。本に関わるだけでなく、快適に利用していただける雰囲気づくりもアルバイトの仕事だと実感しました。

★アルバイトしているとよく同じ学生の方から本の場所を尋ねられます。頼られているという感じがして（特に）やる気になります。

★いつも返本している本がときどきリサイクルとして出されていること。図書館のサービスの中で最も大学での勉強に貢献している。

### Q. 図書館の中でのお気に入りの場所・穴場スポットは？

#### ★一人用自習デスク

(特に窓のとなり) 個人的に一番落ちつくかと思えます。

2階の460K～(グランド側)の棚です。沈む夕陽のグラデーションと、名駅ビルの明かりがとてもすてきです！

2階窓側の閲覧席(本棚のウラ側)が人通りが少ないので良いと思えます。

★地下1階 文学全集コーナー。著名な作家の全集が揃っており感動的です。

地下2階保存庫で、レクラム文庫(岩波文庫のモデルとなった)を読むのが最近のお気に入り。

### Q. 図書館のお勧めの使い方は？

水曜は人が少ないので、おちつきます。

✂️.....

探しても本が見つからない際は、すぐ図書館の人に聞くこと！

✂️.....

何もすることがない時に是非と思うのが、図書館内をぶらぶら歩くこと。本当に最低でも一冊は図書館に来る度いいな、読みたいなと思えます。

✂️.....

ちょっと時間があいたら本を読みに来るだけでなくDVDやCDで時間をつぶしたりソファ(地下1階)で休憩するのもアリだと思います。

以上、先輩たちのオコトバでした。次は図書館研修生(^-^)



## 図書館研修を体験して

### ■レファレンス・カウンター業務

寺澤 侑花

私は図書館研修生として2015年10月～12月に9回のレファレンス・カウンター業務の研修を行いました。研修ではILL(図書館間相互貸借)システムに関して図書館内の資料を実際に見ながら学んだ後に、実際に文献複写依頼・相互貸借依頼を職員の方に指導いただきながら処理を行いました。

研修で行ったことは大きく3つに分けられます。1つ目はILLシステムに関する学習です。2つ目は南山大学から他館への文献複写依頼・相互貸借依頼の対応です。3つ目は他館から南山大学へ来る文献複写依頼・相互貸借依頼の対応です。

図書館研修を通じ、図書館サービスを利用者が受けるために図書館の裏側で行われている手続きや図書館間のシステムを知ることができました。また、実際に来た依頼を処理していくため各種データベースの活用法を実践的に学ぶことができました。そのため、卒業論文を書くための参考文献の検索にとても役立ちました。

図書館研修を通じて指導をいただいた職員の方はどなたも大変親切で丁寧に指導してくださいました。研修生として多くの事を学べたのも心強い職員の方々のおかげです。最後になりますが、より実践的な図書館業務に興味がある方は是非図書館研修生に応募をしてみてください。図書館司書の講義だけではなく卒業論文を書く上でも、進路を考える上でもきっと役立つと思います。

(TERAZAWA, Yuka : 図書館研修生)

## 名古屋キャンパス 新入生のためのライブラリー案内



名古屋図書館では、新入生のためのライブラリーツアーを以下の日程で行います。

図書館の資料の探し方や利用のコツなどをわかりやすく説明しながら、図書館をご案内します。開催時間中ならいつでも大丈夫！1階ブラウジングコーナー前にお集まりください。お待ちしております！

| 名古屋図書館              |               |
|---------------------|---------------|
| 《自由参加・所要時間約20分》随時受付 |               |
| 4月1日(金)             | 15:00 ~ 16:30 |
| 4月4日(月)             | 13:00 ~ 16:00 |



南山大学図書館 新入生歓迎企画

## 「ようこそ 南山大学図書館へ」 ～新入生のための図書館案内～

2016年4月1日(金)～17日(日)

名古屋図書館 1F (ブラウジングコーナー)

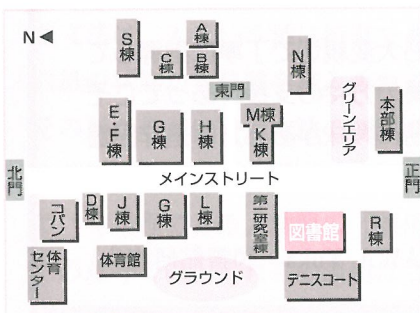
瀬戸図書館 (ブラウジングコーナー横)

名古屋図書館では企画展示を同時開催!!  
テーマ『図書館ウォッチ』

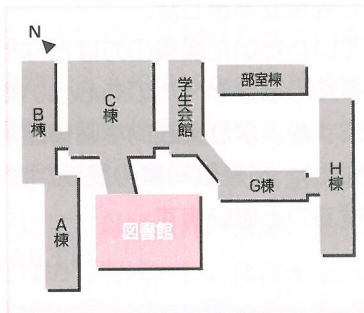


《編集後記》

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。図書館はこれからの学生生活に役立つ情報であふれています。図書館をどんどん活用し、図書館での時間を楽しんでより豊かな学生生活をおくってください。(西尾)



<名古屋図書館>



<瀬戸図書館>

南山大学図書館報 デュナミス No.69

2016. 4. 1 発行

<http://office.nanzan-u.ac.jp/TOSHOKAN/>

発行：南山大学図書館 広報委員会

編集委員：石田(信)、西尾、齋藤

印刷：一誠社

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18

Phone:052(832)3707/Fax:052(833)6986

※図書館Webページでもご覧いただけます。